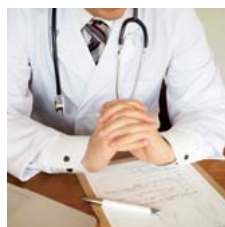


MTR 会報誌

Vol. 2
2017 JULY

交通事故 実務に活かせる
脳の知識、マーケティング知識



大脳機能局在の役割と診断	日本脳神経外科学会専門医 中嶋 浩二	2
PET 検査が高次脳機能障害の精査で有効とされる理由		4
交通事故分野はより専門性が必要になる	(株)船井総合研究所 鈴木 圭介	5
意思能力® 鑑定の仕組み		7

大脳機能局在の役割と診断

大脳機能局在診断の歴史

ヒトの大脳機能局在を科学的に証明したのは、1860～1870年のBroca（ブローカ）、Wernicke（ウェルニッケ）による報告が最初といわれています。当時は脳の画像検査がなかったので、失語症を認めた患者さんの脳を解剖して機能局在を形態的に同定したそうです。現在でも、大脳の言語中枢にはBrocaとWernickeの名前が使われています。その後、脳神経外科手術における大脳皮質（つまり大脳表面）の電気刺激による結果が蓄積され、1950年、PenfieldとRasmussenによって、The cerebral cortex of man : a clinical study of localization of

function が発刊されました。1970年代になると、脳の画像検査としてCTが臨床で使用されるようになり、その後、MRI、PET、さらにはfunctional MRIが開発され、脳機能局在の理解は大きく進歩しました。

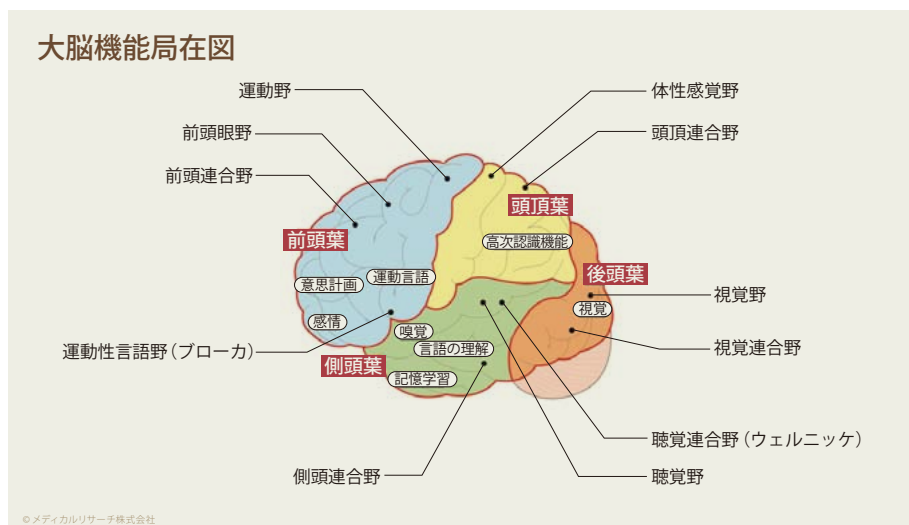


大脳機能局在とは：
脳機能局在論（のうきのうきよくざいろん、英: Theory of localization of brain function）は、脳（特に大脳皮質）が部分ごとに違う機能を担っているとする説のこと

大脳機能局在と診断

われわれ脳神経外科医は、患者さんの神経症状が画像上の障害部位が一致しているのかどうかを確認します。例えば、患者さんに半身の麻痺を認めてい

る場合、画像検査で運動野に脳出血や脳梗塞を確認できれば、医師は容易に診断することができます。ところが、神経症状の程度には「個人差」がありま



一般社団法人日本脳神経外科学会認定専門医

中嶋 浩二



プロフィール

中嶋 浩二 (なかしま こうじ)

1977年、千葉県生まれ。日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本医事法学会会員。2002年、大分医科大学（現在の大分大学）医学部卒業。昭和大学藤が丘病院で脳神経外科医としての研鑽を積み、2008年に脳神経外科専門医資格を取得。東京警察病院救急センター医長を経て、現在、TMG（戸田中央医科グループ）の牧野記念病院脳神経外科部長。医事紛争の協力医として、医療鑑定事務所みなとみらいメディカルサポートの代表も務める。

【主な資格】

- 平成14年 大分医科大学医学部（現在の大分大学医学部）卒業
- 同年 医師免許取得
- 日本脳神経外科学会認定専門医
- 日本プライマリ・ケア連合学会 代議員・認定医・指導医
- 日本脳卒中学会認定専門医

【専門領域】

- 頭部外傷の診断と治療
- 高次脳機能障害の後遺障害認定
- 脳卒中の診断と治療
- 水頭症の診断と治療
- 救急初期対応
（救急車初期対応経験2,500例以上：脳神経系、精神神経系、整形外科領域、感染症全般、呼吸器系、循環器系、消化器系、内分泌・代謝系、腎・泌尿器系、急性中毒・環境障害など）

その他 執筆論文多数

す。画像上、ほぼ同じ部位に脳病変を認める場合であっても、運動障害や言語障害といった症状の「程度」は一定ではありません。また、脳には連合野といわれる部分があります。特に前頭連合野は、頭部外傷による高次脳機能障害との関連が指摘されています。頭部外傷で後頭部を強打すると、対側損傷（contrecoup injury）とって、前頭葉の前頭連合野に脳挫傷を認めることがあります。この場合、意思計画や感情面に障害をきたすことが知られています。具体的には、目的に応じて目標を設定、企図し、結果を評価して利用する機能が障害され、感情面では依存性、欲求・感情コントロール低下、対人技能拙劣、固執性、意欲・発動性の低下、抑うつを認めます。これらは遂行機能障害、社会的行動障害と呼ばれ、「高次脳機能障害者支援の手引き（改訂第2版）」における高次脳機能障害診断基準の主要症状として挙げられています。ただし、障害の程度は個人差が大きいことと、運動野や感覚野の障害と異なり、脳の障害部位と神経症状との関連において、いまだに不明瞭な点が多く、高次脳機能障害の診断を困難にしている一因といえます。したがって、前頭連合野の障害による高次脳機能障害の診断は、経験の豊富な専門医が具体的な症候、画像所見などを慎重に検討することが大切です。

私は医事紛争の協力医として、メディカルリサーチ株式会社と共に、高次脳機能障害の後遺障害認定に関する紛争の解決に協力してきた多くの経験があります。お困りの際は、メディカルリサーチ株式会社へお気軽にご相談ください。



PET検査が高次脳機能障害の精査で有効とされる理由

弊社では、認知症 1300 万人時代の到来に備え、以前から取り組んできた認知症の状態を測る医療技術とその経験、知識で高齢化社会に向けて認知症事業に取り組んでいます。

相続の問題は年々増加傾向にあり、裁判件数は、平成 26 年には 12577 件に上ります。そしてその対象金額は 5 千万円以下が最も多く、次いで多いのは 1 千万円以下、次いで 1 億円以下となっています。(平成 27 年度司法統計)

ここには、遺言を作成する本人とその作成にあ

たっての認知や意思能力の程度が保証されていないという盲点が存在していることが考えられます。

また、従来通り行っている交通事故の鑑定においても、交通事故における高次脳機能障害の精査が増えてきております。本判定においてもいずれの問題も脳の機能を図ることが重要で、それを客観的に捉えるには、PET 検査が最も優れており、PET が有効性を発揮した症例が蓄積されてきております。

軽度認知症(MCI)や高次脳機能障害はPET検査なら分かる

脳はブドウ糖をエネルギーにしているのは誰もが知っている事実です。では、このエネルギー代謝を画像にすることが出来たら脳の代謝を判定できると思いませんか？それが FDG - PET 検査です。

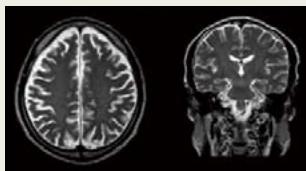
PET 検査では FDG という薬剤を使用します。この FDG の主成分はブドウ糖のため、細胞の代謝が盛んな部分は FDG を多く吸収し、そうでない部分

とのコントラストがうまれます。これを画像化して診断に用います。

ただし、脳の PET 検査には、特殊な解析(SSP 解析)を用いて同世代の正常コントロール群から作られたデータベース画像と比較し、脳のどの部位が代謝低下を起こしているのかを見ることが重要です。

アルツハイマー型認知症における画像診断

〈アルツハイマー型認知症のMRI画像〉



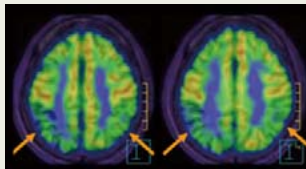
進行期では側脳室の拡大・脳溝の拡大・シルビウス裂の拡大などの大脳の萎縮が見られるようになる。

特に海馬は、他部位と

比較して早期から萎縮が目立つ。

65歳以上の老人性アルツハイマー病に有効。

〈アルツハイマー病におけるFDG-PET画像〉



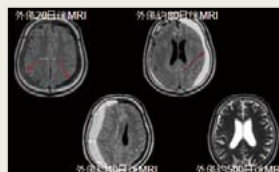
FDG-PET 検査では、主に側頭葉・頭頂葉の集積低下が見られる。

海馬が萎縮する前段階では側頭葉・頭頂葉の代謝低下を認めるため、PET 検査は、早期アルツハイマー病診断に有効である場合が多い。

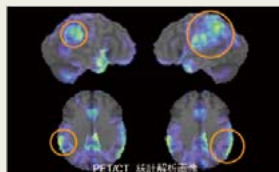
高次脳機能障害における画像診断

《症例》横断歩道を横断中に乗用車に衝突される事故後より記憶喪失・注意障害などが出現

MRI画像



PET画像



● MRI では、慢性硬膜下血腫は両側ともに改善しているとの所見で後遺障害等級で非該当

● PET で高次脳機能障害の鑑別ができるか？

● PET 検査の結果、脳挫傷による変化が、左海馬内側及び右小脳半球に確認できます。

外傷性変化により、脳細胞のダメージが起こり、糖代謝が阻害されています。交通事故による高次脳機能障害と考えるとよい所見であると考えられます。

実務に活かせるマーケティング知識

連載 1 交通事故分野はより専門性が 必要になる



(株)船井総合研究所 グループマネージャー
シニア経営コンサルタント

鈴木 圭介

(株)船井総合研究所では、2007年頃から、事故直後から交通事故被害者に関わる「交通事故被害者救済に関するワンストップサービスモデル」を提唱し、多くの事務所に導入をして頂きました。2007年当時は、交通事故に特化してマーケティングを行う事務所は極めて少数でしたが、それから10年以上が経過した2017年現在では、交通事故に特化している法律事務所も増え、専門特化している事務所の扱う件数は飛躍的に増えています。一方で、全般的に扱われている事務所からは交通事故案件の比率が減少するといった傾向が出ています。交通事故のマーケティング活動が進んだことによって、交通事故被害者は明らかに以前よりも、様々な情報を入手しやすくなっていますし、被害者を巡る状況は明らかに

良くなっていると思いますが、まだまだ救済し切れていない交通事故被害者は多く、保険会社の対応の変化に対応しきれない法律事務所が増えていると感じています。

近年、弁護士増員による競争の激化や以前よりも弁護士採用が簡単になった結果、組織化する事務所が増加しました。その結果、個人向けの事案を多く扱われ、全般的に対応されている「町弁型」の事務所経営のスタイルは見直されつつあります。全般的に対応するスタイルを維持しつつも各分野の専門性を高める「総合病院型」の事務所が依頼者の支持を集めています。専門性の高さの定義が様々ございますが、私は「専門性が高い＝他事務所と比べて明

メディカルリサーチセミナー 今後のお知らせ

7/14 金 交通事故における主な受傷症例 高次脳機能障害

講師 ○ 佐藤 俊彦 医師・中嶋 浩二 医師
場所 ○ 霞が関ビル1F プラザホール
時間 ○ 18:30 ~ 20:00 (受付 18:00 ~)

7/21 金 相続時の意思能力を医学的に分析する

講師 ○ 佐藤 俊彦 医師
弁護士のための相続マーケティング講座
講師 ○ 株式会社船井総合研究所 岡田 弘毅 氏
場所 ○ アットビジネスセンター東京駅
時間 ○ 16:30 ~ 18:00 (受付 16:00 ~)

11/8 水 高次脳機能障害

講師 ○ 中嶋 浩二 医師
場所 ○ 船井総合研究所 東京本社
時間 ○ 10:30 ~

12/7 木 相続時の意思能力を医学的に分析する

講師 ○ 佐藤 俊彦 医師
場所 ○ 大阪市中央公会堂 大会議室
時間 ○ 18:30 ~ 20:00 (受付 18:00 ~)

※ 詳細は弊社HPをご覧ください。
※ 平成29年6月初旬現在の予定です。

information



確に技術力に差がある」と定義しています。弁護士増員の影響は、都内とそれ以外の地域では、大きな時差があり、感覚的には、政令指定都市クラスで3～5年、それよりも小規模都市で、5～7年の差があると感じています。都内では、過払い金ブームが落ち着きつつあった2012年頃から、個人向け分野における需要と供給のバランスが、逆転し始めており、専門性の醸成が急務となりました。その傾向が、政令指定都市やそれよりも小規模の都市にも徐々に進んでおり、2017年現在では、多くの都市で需要と供給のバランスが逆転しつつあります。

需要と供給のバランスが逆転した場合、今までとは事務所経営のスタイルを大幅に変える必要が出てきます。バランスが逆転した場合には、比較を前提に事務所経営と弁護士業務を行う必要ができません。需要の方が多い状況下では、集客を中心とした事務所経営を行うことで飛躍的に売上を伸ばすことが可能ですが、供給が多い状況下の場合、集客は前提として、弁護士としてのスキルの向上がより必要になります。当たり前ではあるのですが「本当に技術力のある弁護士の方が勝ち残る時代」になります。ただ、目の前の業務をとにかく丁寧に処理することも重要ですが、市場のニーズに目を向け、今までされていなかったような取り組みを行うといった「多角的な視点を持った職人」になることが重要になります。

このような状況下でするので、事案を獲得するという視点においても、弁護士業務スキルを向上させるという視点においてもより専門性が必要になる時代が来ています。事案を獲得するという視点においては、WEBサイトの精度向上と紹介ルートが多様化の二点が最重要になります。弁護士業務スキルの向上という視点においては、医療知識の習得と事例の集積、そして分業の三点が最重要になります。こちらに関しましては、次回以降の回にて、具体的な事例を踏まえてお話をさせて頂きたいと思います。

最後までお読み頂き、誠にありがとうございました。

株式会社 船井総合研究所

「お客様の業績を向上させること」を最重要テーマとし、現場の即時業績アップ支援に強みを持ち、独自の経営理論に基づくコンサルティングを行っている。また、社会的価値の高い「グレートカンパニー」を多く創造することをミッションとし、企業の本質的な「あり方」にも深く関与した支援を実施している。その現場に密着した実践的コンサルティング活動は様々な業種・業界から高い評価を得ており、500名のコンサルタントが8,023社（2015年12月末数値）のご支援先のサポートにあたっている。

株式会社 船井総合研究所 法律事務所コンサルティンググループ

2005年より、司法制度改革による法律事務所環境変化に対応して、法律事務所経営革新を行うために設置された。「法律事務所のコンサルティングを通じて、社会的課題を解決し、世の中をより幸せにする」ことをミッションに掲げ、多くの弁護士の先生方と共に法律事務所の新しい体制づくりと需要の創造に努めている。

個人プロフィール

鈴木 圭介（すずき けいすけ）

2007年船井総合研究所入社。法律事務所向けコンサルティング部門責任者。法律事務所経営研究会及び企業法務研究会主幹。実務に精通した提案は弁護士会からも評価されており、2015年に開催された第19回弁護士業務改革シンポジウムにおいては第三部会においてパネリストを務めた。特に交通事故分野に精通しており、マーケティングに関するコンサルティングのみならず、等級認定に関するアドバイスや受任率・業務効率の向上、パートナー制度に伴う評価制度の構築、法律事務所の組織づくりに関するコンサルティングもを行っている。

【主な著書・共著】

『新訂版 弁護士のためのマーケティングマニュアルⅡ 分野別実践編』2017年 第一法規株式会社
『改訂版 法律家のためのWEBマーケティングマニュアル』2015年 第一法規株式会社
『土業の業績革新マニュアル』2015年 ダイアモンド社
『弁護士10年目までの相談受任力の高め方』2014年 レクシスネクシス・ジャパン
『法律家のためのWEBマーケティングマニュアル』2010年 第一法規株式会社

【最近の主な講演実績】

2015年10月 日本弁護士連合会主催 第19回弁護士業務改革シンポジウム「弁護士業務拡大に資する事務職員の養成と確保」
2014年10月 岡山県弁護士会主催 「弁護士のためのマーケティング講座」
2014年1月 福岡県弁護士会「木曜会」主催 「若手弁護士のためのマーケティング戦略」
他多数

メディカルリサーチのワンストップサービスのご案内

各分野の専門医が、初動段階から医療調査をサポート。厳正中立な医療の立場で全てのサービスをワンストップでお届けいたします。

画像鑑定サービス

各部位のサブスペシャリティを持つ放射線科専門医が画像鑑定を担当。AI等の特殊性の強い画像鑑定にも幅広く対応します。当社では、鑑定のスペシャリストが事故態様との整合性等をも検証しながら、画像を精査し、精密な結果とキーとなる画像をレポート形式で提供致します。

医学意見書サービス

- 後遺障害の認定や発症した病態に対する素因（既往）との関係、医療事故、交通事故から併発した病態の分析・評価等について、医証精査のうえ、各種事案に適する専門医が見解を述べ意見書として提供致します。
- 医療訴訟には、医証精査のうえ素因との関係、病態の分析・評価等についての見解を意見書にて提供致します。各専門領域の臨床専門医が連携しての鑑定書作成を承ります。
- 係争事案につきましては、放射線科専門医と各専門領域の臨床専門医が連携し鑑定書作成致します。

意思能力[®] 鑑定の仕組み

基本鑑定内容

- 1 認知機能評価：「長谷川式認知機能テスト」による知能評価
- 2 精神疾患診断：「精神科診断用構造化面接」による診断評価
※意思能力[®]に影響する精神疾患の有無を診断
- 3 意思能力[®] 評価：「遺言等執行判断能力評価の構造化面接」による診断評価
- 4 鑑定報告書：各評価に基づき総合的に評定された鑑定結果の報告書
- 5 客観的証憑記録の提供：施行事実を証するため、鑑定の施行状況を映像記録

器質的脳機能評価

PET+MRI 検査による器質的な脳機能の状態を評価

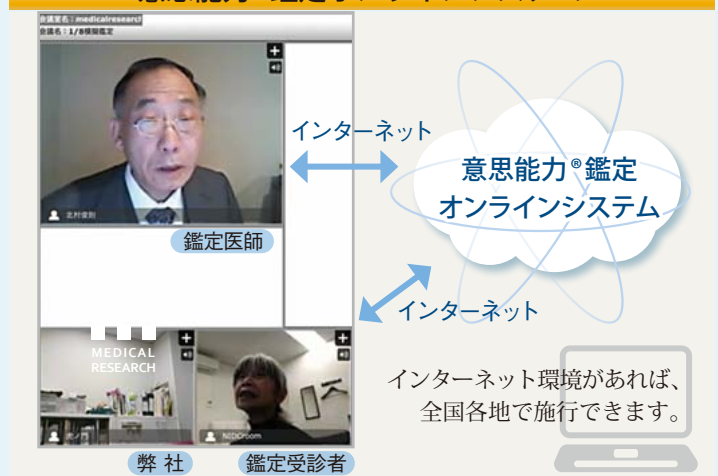
※上記の意思能力[®] 鑑定に、器質的脳機能評価を加えることにより、一層精度の高い鑑定が行えます。



意思能力[®] 鑑定にあたり準備いただく書類

- 1 介護記録、施設での生活記録・看護記録、主治医カルテ等、当時の生活状況の分かるものは可能な限り多く入手してください。
- 2 画像 (DICOM データもしくはフィルム)
- 3 長谷川式、MMSE 等の検査結果
- 4 公正証書もしくは遺言書
- 5 対象者の家族構成
- 6 法廷相続人および、その続柄
- 7 負債を含む全財産目録
- 8 公正証書 (遺言書) を作成する経緯
- 9 死亡診断書
- 10 訴状、準備書面
- 11 主治医意見書
- 12 反論意見書

意思能力[®] 鑑定オンラインシステム



CONTACT

お問い合わせ



お電話で

03 - 6273 - 4403



メールで

E-mail : mr.company@medicalresearch.co.jp



ホームページのお問い合わせフォームから

<http://www.medicalresearch.co.jp/>

メディカルリサーチ

お問い合わせ のページからどうぞ



スマートフォン
サイトはコチラ



メディカルリサーチ株式会社

【本社】 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-10-1 有楽町ビル 4 階

TEL. 03 - 6273 - 4403 FAX. 03 - 6273 - 4034

※意思能力®とはメディカルリサーチ株式会社の商標登録です。